



平成27年度 新潟県合同輸血療法委員会

－ 血液製剤の使用状況について －

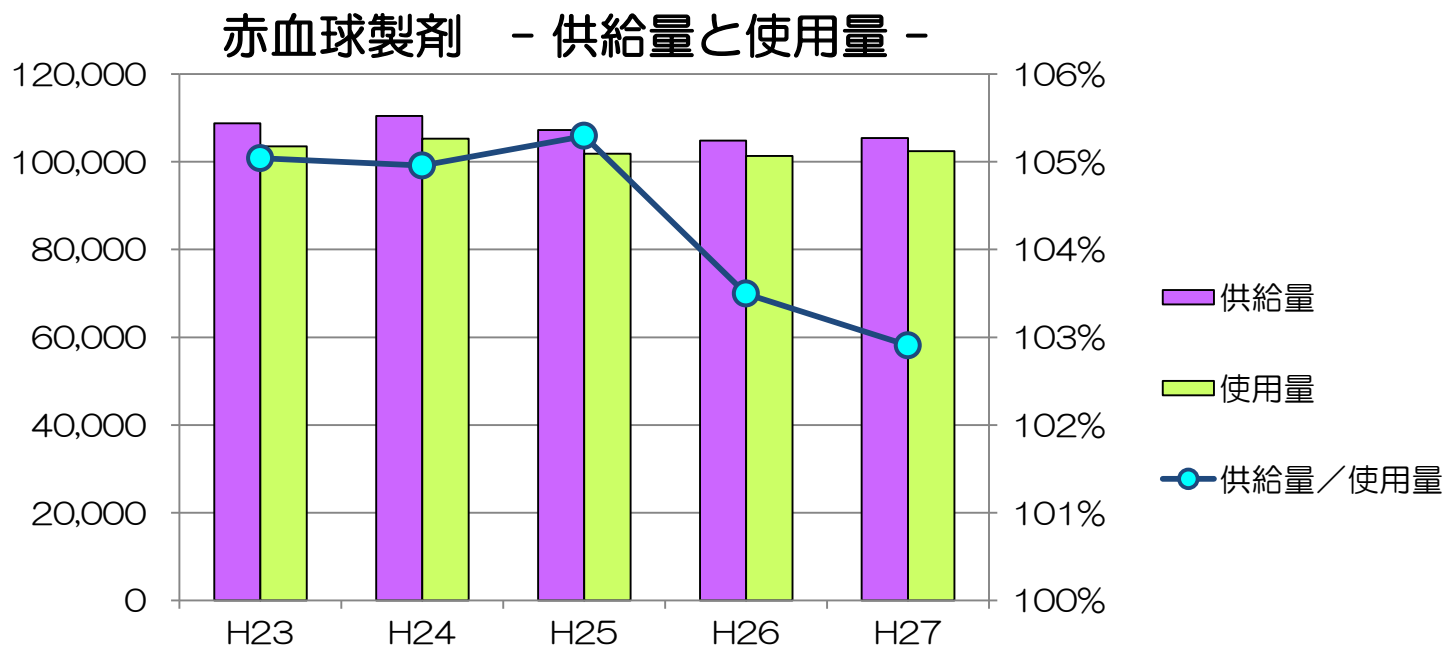
新潟県合同輸血療法委員会ホームページの毎月報告データを使用。
対象 **80**施設への H27(2015)年における赤血球製剤の供給量は、
県内全供給量の **99.0%** を占める。(残る 1.0% = 46施設)

過去5年の使用量

調査年 (暦年)	赤血球製剤 (単位)	血小板製剤 (単位)	血漿製剤 (リットル)	アルブミン製剤 (グラム)	自己血 (リットル)
H23 (2011)	103,541	204,270	3,933.4	597,126.0	1,285.8
H24 (2012)	105,248	191,435	3,654.4	532,028.1	1,212.7
H25 (2013)	101,867	197,254	3,326.1	478,140.2	1,056.0
H26 (2014)	101,327	204,104	3,471.9	451,828.7	945.0
H27 (2015)	102,419	213,511	3,346.0	422,831.7	1,019.0

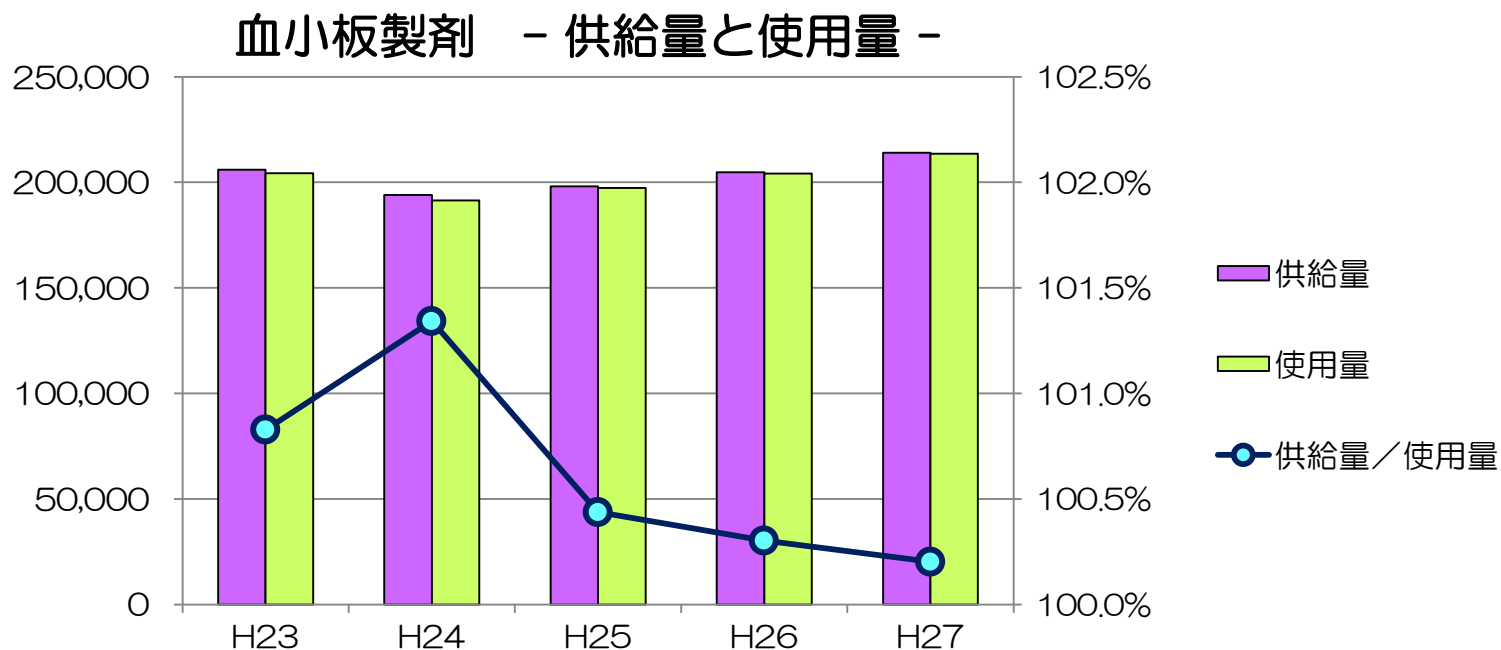
赤血球製剤の使用状況

年 (暦年)	使用量 (単位)	対前年比 (%)	廃棄量 (単位)	廃棄率 (%)
H23	103,541	—	2,663	2.51
H24	105,248	101.6	2,926	2.70
H25	101,867	96.8	3,361	3.19
H26	101,327	99.5	2,688	2.58
H27	102,419	101.1	1,950	1.87



血小板製剤の使用状況

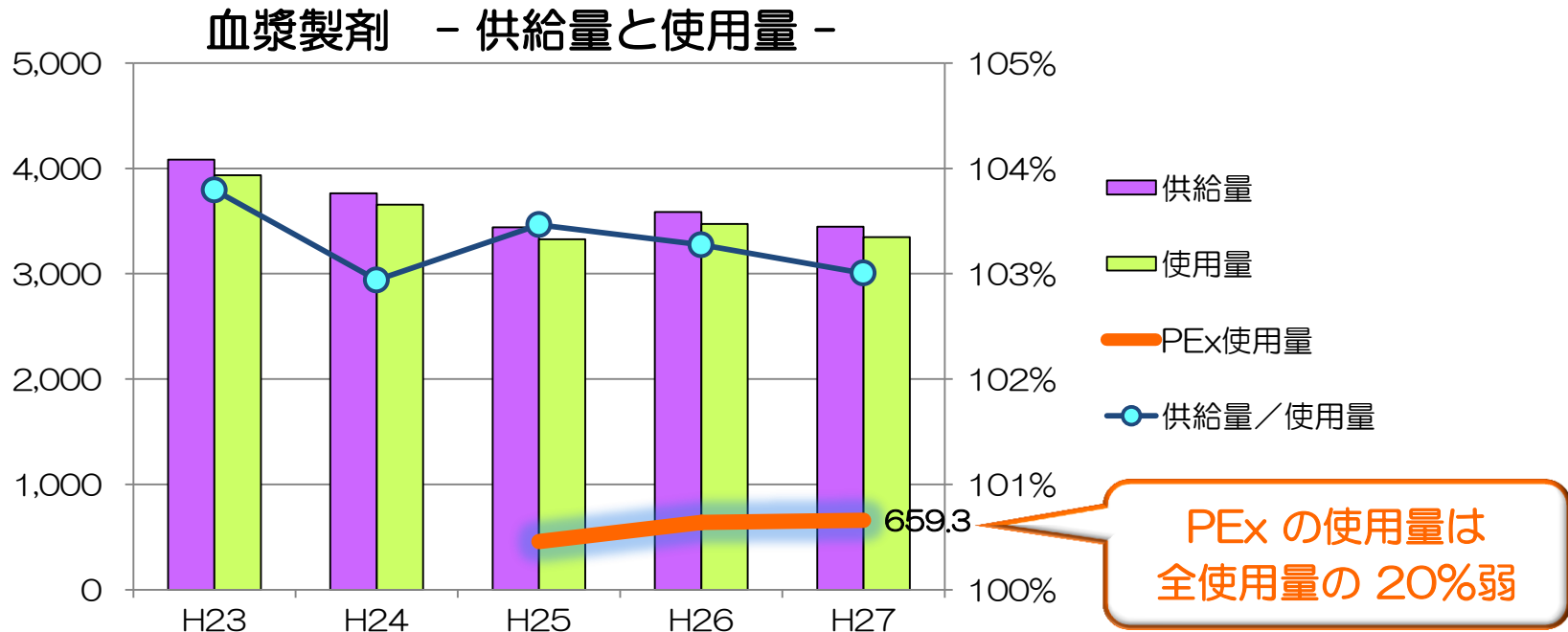
年 (暦年)	使用量 (単位)	対前年比 (%)	廃棄量 (単位)	廃棄率 (%)
H23	204,270	—	310	0.15
H24	191,435	93.7	385	0.20
H25	197,254	103.0	310	0.16
H26	204,104	103.5	302	0.15
H27	213,511	104.6	264	0.12



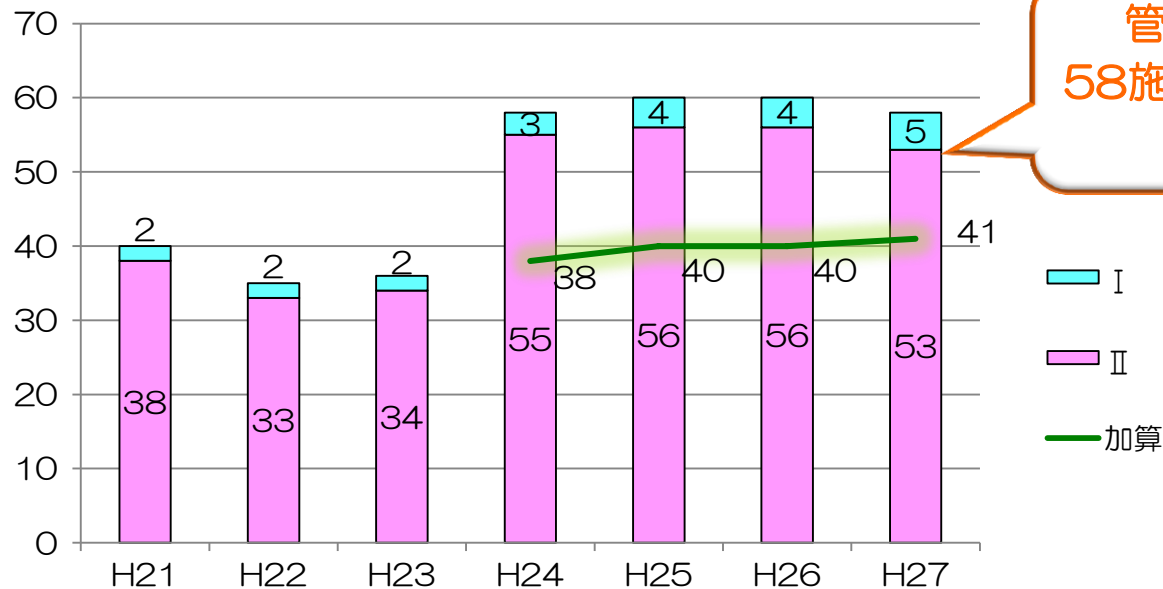
血漿製剤の使用状況

年 (暦年)	使用量 (リットル)	対前年比 (%)	FFP/RBC	廃棄量 (リットル)	廃棄率 (%)
H23	3,933.4	—	0.30*	119.4	2.98
H24	3,654.4	92.9	0.27*	85.3	2.30
H25	3,326.1	91.0	0.24	96.3	2.81
H26	3,471.9	104.4	0.25	117.3	3.27
H27	3,346.0	96.4	0.23	72.8	2.13

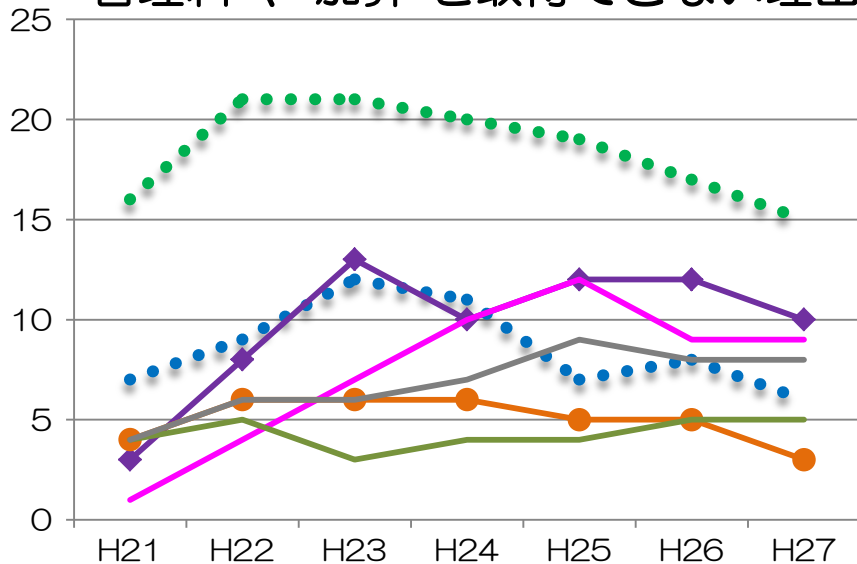
※ 血漿交換(PEx)を考慮していない



輸血管理料・輸血適正使用加算の取得状況



管理料や加算を取得できない理由



- ALB/RCCが基準を満たさないため
- FFP/RCCが基準を満たさないため
- ◆◆◆ 責任医師が配置されていないため
- ◆◆◆ 専任(専従)の検査技師が配置されていないため
- 輸血用血液の一元管理がなされていないため
- 輸血検査が常時実施できる体制が整備されていないため
- 輸血療法委員会が未設置のため

加算要件

管理料要件

平成27年度 血液製剤の使用状況 まとめ

－ 5年間の推移 －

- 赤血球製剤； 使用量は毎年ほぼ横ばい。廃棄量1,950単位、**廃棄率1.87%** は過去最低。
- 血小板製剤； 使用量は**微増傾向**、213,511単位 は過去最高。廃棄量264単位、廃棄率0.12% は過去最低。
- 血漿製剤； 使用量はこの3年間横ばい。廃棄量 72.8リットル、**廃棄率2.13%** は過去最低。
- アルブミン製剤； 使用量は**漸減**、H27年の使用量は H23年と比べると約 30%減少している。
- 自己血； 使用量は**漸減**。H27年より整形外科専門の1病院からデータ提供頂いている ⇒ H27年使用量はH26年と比べると増加している。
(従来病院数でのH27年使用量はH26年より少ない)